

令和7年(2025年)11月1日発行

**OBが活躍する企業の指定により
建築関連書籍を受領**

埼玉りそな銀行から書籍寄贈

埼玉りそな銀行が取り扱う「埼玉りそな寄贈品付CSR私募債」を利用したアイティック株式会社(東京都足立区)から指定を受け、同行を通じて建築学部に書籍が寄贈された。この私募債は発行企業から受け取る手数料の一部を活用し、同行が

次世代の育成に役立つ寄贈品を企業が指定する学校等に贈呈することによって、地域社会に貢献したい企業のニーズを支援する。今回寄贈された書籍は著名写真家による世界の建築物の写真集13巻セットである。建築学部のデジタルデザイン室に常設

埼玉りそな銀行が取り扱う「埼玉りそな寄贈品付CSR私募債」を利用したアイティック株式会社(東京都足立区)から指定を受け、同行を通じて建築学部に書籍が寄贈された。この私募債は発行企業から受け取る手数料の一部を活用し、同行が

次世代の育成に役立つ寄贈品を企業が指定する学校等に贈呈することによって、地域社会に貢献したい企業のニーズを支援する。今回寄贈された書籍は著名写真家による世界の建築物の写真集13巻セットである。建築学部のデジタルデザイン室に常設

され、学生は自由に閲覧できる。

7月7日、同社の木村社長、同行八潮支店の奥村支店長ほか関係者が本学に集い、書籍の寄贈式が執り行われた。木村社長は、「卒業生の活躍が評価されたことに対して感謝いたしました」と喜び、「ありがとうございました」と謝辞を述べた。建築学部の小川教授は寄贈書籍の選定理由を説明し、学生に「この制度を活用して貴重な資料になる」と強調した。



(左より) 木村社長、竹内学長、奥村支店長

**令和7年度高等学校DX加速化推進事業
DXハイスクール支援プロジェクト**

専門学科教員によるDX関連科目の出前授業
「探究的な学び」「情報II」の充実、教員向け研修

長年にわたり蓄積してきた高大連携教育に関する経験をDXハイスクール採択校の支援に活用。将来のデジタル分野を支える人材育成に貢献します!!

詳細・お申込み [\[QRコード\]](#)

入試対策講座(一般選抜向け)

12月7日(日)

出題傾向を把握し、筆記試験に向けて万全の対策を! 実際に来学して入試本番前の最終チェックをしよう!

詳細・お申込み [\[QRコード\]](#)

まだまだ間に合う年内合格! 2026年度入試日程

[基幹工学部] 機械工学科・電気情報工学科・環境生命化学科 [建築学部] 建築学科(建築コース/生活環境デザインコース)

[先進工学部] ロボティクス学科・情報メディア工学科・データサイエンス学科

入試種別	出願期間	試験日と試験会場	合格発表日
総合型選抜(基礎学力型)	10/4(土)~11/10(月)	11/15(土)本学	12/1(月)
総合型選抜(体験講義型)第2期	11/11(火)~12/10(水)	12/13(土)本学	12/19(金)
総合型選抜(活動アピール型)第2期	12/11(木)~1/20(火)	1/31(土)本学	2/6(金)
外国人留学生入試(単願)第2期	12/11(木)~1/20(火)	1/31(土)本学	2/6(金)



工業技術博物館で蒸気機関車などを見学



企業訪問で担当者と意見交換



柳澤理事長、竹内学長を表敬訪問

本学が科学技術振興機構の国際交流事業「さくらサイエンスプログラム」に採択され、同プログラムによる9月22日から6日間、日本語を学ぶM・クマラサミー工科大

学(インド)の大学生7名が本学で研修を行った。初日、学生たちは柳澤

章理事長、竹内貞雄学長を表敬訪問した後、キャンパス内の主要施設を見学。工業技術博物館では

午後は主に社会見学が行われ、本学付属の駒場高校訪問では、生徒たち

午後には成東発表会が行われ、竹内学長から在し貰い物を満喫した。最終日には成東発表会が行われ、竹内学長から修了証書が授与された。

パンチカード式工業用ミシンや蒸気機関車に興味を示し、熱心に説明を聞いていた。夕方には本学関係者との懇親会に参加し、親睦を深めた。

学生たちは翌日から、午後は主に社会見学が行われ、本学付属の駒場

午前中に本学教員による授業を体験した。機械工学科の桑原拓也教授、ロボティクス学科の中里裕一教授から専門の研究内容の説明を受けた。講義は基本的に日本語で行われたが、学生たちは貢献深く聞いていた。

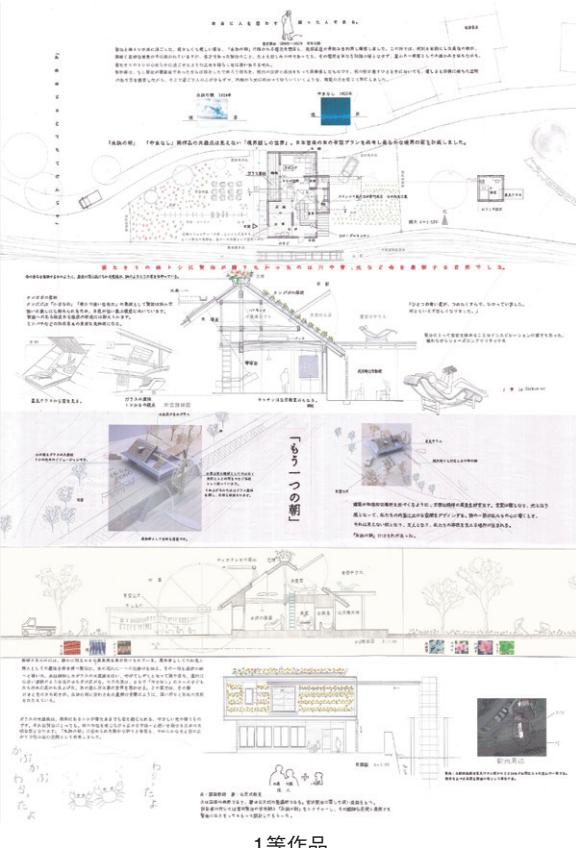
第39回日本工業大学建築設計競技

全国から40校80作品「宮沢賢治の物語の家」

【審査委員長の講評】

宮沢賢治の数ある物語のなかから好きな話を選び、そのなかに登場する家を考えて欲しいと思いました。建築設計は、様々な分野を横断して考え、それらを統合する作業なので、価値観を広げてくれる本を課題の出発点にしたいと考えたのです。応募作品は、図面表現、建築空間構成を通じた賢治への理解が多く、その中でも、物語をモチーフにしながら、賢治の自然観、人生観を見つめ、それを等身大の自分自身に照らし合わせて作られた作品が評価されていましたように思いました。たくさんの素晴らしい提案に出会えたことに感謝します。

藤野高志
(生物建築専攻/東北大学准教授)



1等作品

入賞者

審査結果	氏名	学校名
1等	○宮本 杏奈 山田まい	広島市立広島工業高等学校
2等	中山 優月	長野県池田工業高等学校
3等	高田 望愛	神戸市立科学技術高等学校
審査員賞 (藤野高志)	紺野 駿	福島県立福島工業高等学校
審査員賞 (勝木祐仁)	伊藤 光希	愛知県立愛知総合工科高等学校
審査員賞 (吉村英孝)	西川 寧音	滋賀県立安曇川高等学校
佳作	○川合 陽太 鈴木 仁大	三重県立四日市工業高等学校
佳作	○眞弓 侑奈 豊田 美空	三重県立四日市工業高等学校
佳作	村岡 吾樹	群馬県立桐生工業高等学校
佳作	植田 智尋	岡山県立津山工業高等学校
佳作	○堀口 貴央 蓬萊 風	神戸市立科学技術高等学校
佳作	吉村 朝葵	兵庫県立龍野北高等学校
佳作	佐藤 澄海	国公立明石工業高等専門学校

NITプロダクトデザインコンテスト2025

高校生の創造力が集結



オリジナルアイデア部門優秀賞「UVチェックチャーム」



3Dプリント造形部門優秀賞「捨じられた球のオブジェ」

高校生を対象としたプロダクトデザインコンテストが開催され、個性あふれる96作品の応募があった。

オリジナルアイデア部門では「気分を上げるプロダクト」として、日常や特別な時、落ち込んだ時に気分を高めるプロダクトの提案を募集。3Dモデリング部門は「動く機構をもったプロダクト」をCADデータで、3Dプリント造形部門は「おもしろい形のオブジェ」を3Dプリンタによる造形物で募集した。自由部門には他の部門に当てはまらない自由な発想のプロダクトが集結。各部門で厳正な審査が行われた。

10月26日には本学で授賞式が行われ、受賞者に賞状と賞品が授与された。

審査結果

各賞	氏名	高校名
オリジナルアイデア部門 (応募数24件)		
優秀賞	相田 紗美	栃木県立足利工業高等学校
佳作	伊東 佑翔	愛媛県立新居浜工業高等学校
自由部門 (応募数39件)		
特別賞	清水 海斗	栃木県立足利工業高等学校
佳作	西山 拓澄	東京学芸大学附属国際中等教育学校
佳作	金城 隆斗	成蹊高等学校
佳作	深野 瑞真	群馬県立伊勢崎工業高校
佳作	田所 伶菜	栃木県立足利工業高等学校
3Dモデリング部門 (応募数14件)		
佳作	河村 侑吾	愛媛県立新居浜工業高等学校
佳作	樋口 陽大	長野県岡谷工業高等学校
佳作	岡 夏希	東京都立六郷工科高等学校
佳作	上村 龍生	岐阜県立岐南工業高等学校

各賞	氏名	高校名
3Dプリンタ造形部門 (応募数19件)		
優秀賞	長野 悠人	愛媛県立新居浜工業高等学校
特別賞	下田 出	長野県岡谷工業高等学校
佳作	中山 結衣、江畑 遼祐	広尾学園高等学校
佳作	曾我 俊介	愛媛県立新居浜工業高等学校
佳作	藤田 真尋	和歌山県立和歌山工業高等学校
学校奨励賞		
岐阜県立岐南工業高等学校		
東京都立六郷工科高等学校		
長野県岡谷工業高等学校		
群馬県立前橋工業高等学校		
群馬県立新田暁高等学校		



天満宮奉納少年剣道大会



学長杯バスケットボール大会

昨年度、体育館に冷暖房装置が導入され、夏の猛暑の中でも快適に活動できる環境が整えられた。体育授業や部活動の一用としている。今夏の活

環境改善とともに、近隣の児童、生徒への快適な活動空間の提供など、地域貢献の一環としても活用されている。今夏の活

地域貢献 地域のスポーツ振興に協力

地域貢献

用事例を紹介する。
天満宮奉納少年剣道大会

（7月26日）
本学天満宮の奉納行事として始まり、今まで武道場で44回開催されてきたが、今年は快適かつ余裕のあるスペースで試合を行うことができた。今年は地元の宮代剣友会、杉戸西剣友会

大会（7月29日）
会などの小学生45名が参加。児童たちは礼儀正しく挨拶をし、大きな掛け声を出しながら元気よく

加。児童たちは礼儀正しく挨拶をし、大きな掛け声を出しながら元気よく

定期試験期間中の体育館の有効活用、近隣の高校への活動支援の一環として催された。初開催となる今年は連携協定校

白岡高校、蓮田松韻高校をはじめ近隣の7校が参加。総当たり形式で試合が行われ、選手たちは白熱した試合を繰り広げた。竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

「採用を増やしたい大学ランディング19位」（全国私大2位）。毎年実施されている日経キャリアの新・就職力ランディングの一項目である。学生の支援をしている中で「内定報告」はもちろん嬉しいが、こうしたランキン

「内定報告」はもちろん嬉しいが、こうしたランキン

の一部活、サークルなど課外活動に積極的に取り組んでいた。竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

竹内学長は優勝した白岡高校に学長杯を授与し、白岡高校に学長杯を授与

声を出しながら元気よく

声を出しながら元気よく

声を出しながら元気よく

声を出しながら元気よく

声を出しながら元気よく

声を出ながら元気よく

曖昧さが生む学びの種

大学院技術経営研究科・教授

浅見哲也

夏休みの子供向け体験教室

本学では毎年の夏休み期間中、近隣の児童・生徒と保護者を対象として、ものづくりや実験ができる各種イベントを開催している。今夏もものづくりや科学の魅力を伝える多彩なプログラムを用意し、教員や学生が指導にあたった。各イベントとも定員を上回る盛況ぶりであった。



ロボット工作教室



越谷市児童館コスモス体験イベント

イベント名称	主な内容	実施日	参加数
スチューデントラボ 中学生科学教室	作って実験! ベンデュラムウェーブ ～振り子の不思議な動き～	7/26(土)	10名
スチューデントラボ 親子ものづくり教室	二足歩行ロボット、LED光ファイバー アートの製作など5テーマ	8/2(土)	60組120名
加須市少年少女発明クラブ ロボット工作教室	二足歩行ロボットの工作	8/6(水)	20名
関東地区リフレッシュ 理科教室(埼玉会場)	風に逆らって進む? ウインドカーを作ろう!	8/23(土)	40名
関東地区リフレッシュ 理科教室(茨城会場)	空気のパワーで発進! 浮かぶ、走るホバークラフトを作ろう	8/24(日)	30名
越谷市児童館コスモス 体験イベント	インタラクティブアート・ゲームの体験	8/2(土)、3(日)	300名以上

「知識」は単なる情報やデータではなく、組織の競争力そのものと捉えられています。知識が生まれ、共有され、活用されていくプロセスは、企業のインベーションや成長に直結する重要なテーマです。

日本の経営学者・野中郁次郎氏が提唱した知識創造論において、知識は一つに分類されます。第一は形式知です。言葉や数式、図表などにより明確に表現され、マニュアル化や文書化によって熟練の職人が持つ「勘」など、身体的・感覚的に

直感的・直感的な知識を生み出すエンジニア

ーになると考えられています。

日頃、工学的に定量的な議論を求められる機会が多いと思いますが、う

まく纏まっていなくて、積極的に思いを発信する勇気をもらえる。

極端に言語化されていて強引に捉えています。

ない情報発信の有効性について擬音語で試してみた

たいと思います。私の趣

味の音楽を対象に「時代ごとの音の特徴」を表現してみました。

1980年代「シャカピカ」CD登場、きらびやかでクリア音。

1990年代「キラキラ・キュンキュン」J-POP黄金期、グイグイ

トリズムも歌詞も勢いのある都会的な音。

2000年代「ドンシャリ」iPodやデジタル配信普及の時代。

2010年代「フワモフドン」重低音がさらに強調されるが、音の質感はソフトで心地よい。

各時代の音のイメージは伝わりましたでしょう?

曖昧なアウトプットだ

からこそ、発信者の思考

の限界を超えて受け取った人が拡張し、修正し、

新たな価値が生まれる可能性が高まる。その中

で、発信者自身も新しい能

化が曖昧で不安が残って御

2025夏祭り

14年ぶりに学生神輿が巡行

今年の夏祭りは8月3日・4日に実施。学生サークルが運営する露店、各種イベント、音楽ライブなどが催され、近隣からも家族連れなど多くの人が訪れた。

今年のメインは14年ぶりに復活した学生神輿の巡行である。神輿



は金色の屋根と胴が輝き、照明によりライトアップされ神々しい風格を漂わせていた。学生たちは威勢よく掛け声をかけながら5号館前からグラウンドまで巡回した。

この神輿は8月24日に実施された宮代町民まつりにも参加した。



が出席し、受賞者への豪

学長賞
中央執行委員会賞
学生支援部長賞
寿司パワー
黒髪が日に日に増える三年生
ドーナツツリで吊るすといとお菓子
ソルト
学長賞
スーパータキオ

表彰式には、学長や学生自治会各委員会委員長が出席し、受賞者への豪



(一社)日本工業大学工友会は本学の同窓会組織として活動しており、全国に地域支部を設置している。この度、海外中国支部が設置された。9月21日、第一回総会が5号館で開催された。

工友会海外中国支部を設置

柳澤理事長、竹内学長、土井工友会会长はじめ、支部関係者とその家族など21名が出席した。総会では同支部設置の経緯として、2005年から続く中国卒業生懇親会が同支部の前身となつ

ていること、その目的が会員相互の親睦及び情報交換、本学発展への支援であることが紹介された。また今後の活動方針として、中国関連情報の提供、中国企業の紹介や仲介、留学生募



電子情報通信学会 学生年間優秀発表賞

電子情報メディア工学（平栗研究室）の青山幸

博士前期課程2年（瑠さんが7月4日に開催された電子情報通信学会にて「学生年間優秀発表賞」を受賞した。本賞は年間を通じて

選ばれた優秀発表者のうち最も優れた発表をした学生に贈られる。受賞対象となった研究では、波源分布および波源推定アルゴリズムを用い、ドローンが自律的に最適な通信エリアを推定しながら飛行する制御技術を提案している。これにより通信品質の向上や効率的なネットワーク運用が期待され、災害時

に「栄えある賞を賜り、大変嬉しく思う。平栗教授をはじめ、学内外の先生方や企業の方々に深く感謝している。これを励みに、今後も精進していく」と述べた。

日工大川柳表彰式

7月9日に、「令和7年度日工大川柳～春学期の部」表彰式が開催された。

この「日工大川柳」は、大学や学生生活への想いを自由に表現する事を目的に、学生生活向上委員会が、コロナ禍以降実施している企画である。

表彰式には、学長や学

生自治会各委員会委員長

が出席し、受賞者への豪

華景品贈呈や記念撮影等

が行われた。

中野学生生活向上委員会委員長は「日工大川柳

に多くの応募があった。

学生の意見や想いが綴られた作品もあり、今後の活動に活かしていく」と意気込みを語った。

感謝している。これを励

みに、今後も精進してい

きたい」と述べた。

学生環境推進委員会

7月9日、学生環境推進委員会による利根川強化堤防森づくりボランティア活動への学長表彰式が行われた。今年の全国植樹祭で委員会の森林育成活動が評価され、埼玉県知事から表彰されたことを受け、学内でもその功績を称え表彰された。

式では、植樹祭に代表として招かれた前委員長・赤澤颯さん（建築学科4年）が竹内学長から

表顕状を受け取り、活動

を報告。続いて現委員長・今井ありさん（建

築学科3年）が、後継ど

うの言葉を紹介した。

これまで活動に尽力してき

た歴代委員と現役学生に

期待される。

表顕状を受け取り、活動

を報告。続いて現委員長・今井ありさん（建

築学科3年）が、後継ど